

仕 様 書

エックス線透視装置

2022 年度
済生会松山病院

	項目
1-1-1	Cアーム部の前後方向への動作範囲は20cm以上であること。
1-1-2	Cアーム部の縦方向への回転範囲(アンギュレーション)は、 -90° 以上 $+30^{\circ}$ 以上であること。
1-1-3	Cアーム部の横方向への回転範囲(ローテーション)は $\pm 200^{\circ}$ 以上であること。
1-1-4	Cアーム部の上下方向への動作範囲は42cm以上で電動機構を有すること。
1-1-5	Cアーム部の開口は83cm以上有すること。
1-1-6	Cアーム本体はバッテリーを搭載しており、電源接続なしで透視が可能であること。
1-1-7	X線管球は固定陽極型であること。
1-1-8	X線管球の焦点サイズは0.6mm以下であること。
1-1-9	最大管球熱容量は50kHU以上であること。
1-1-10	最大陽極冷却率は48kHU/min以上であること。
1-1-11	総ろ過2.5mmアルミ当量以上の付加フィルタを有すること。
1-1-12	面積線量を表示できること。
1-1-13	フラットディテクタを有し、ピクセルサイズは $150\mu\text{m}$ 以下であること。
1-1-14	フラットディテクターは、手技目的に合わせてサイズ交換が可能であること。
1-1-15	フラットディテクターは $20\text{cm}\times 20\text{cm}$ 以上の視野サイズを有すること。
1-1-16	フラットディテクターのマトリックスは 1536×1536 以上であること。
1-1-17	フラットパネルディテクターは取り外しが可能なカセットタイプであり、Cアーム本体と組み合わせて静止画撮影が可能であること。
1-1-18	金属物・骨・軟組織を自動で検知しコントラストを自動で調整できること。
1-1-19	本体コンソールにタッチパネル方式の17インチモニタ有すること。
1-1-20	輝度/コントラスト、画像回転、拡大機能はタッチパネルで操作できること。
1-1-21	ストレージメモリは90,000画像収納可能なこと。
1-1-22	モニターカートを有し、LCDモニターの解像度は 1280×1024 ピクセル以上であること。
1-1-23	モニターカートのLCDモニターサイズは19インチ以上かつ2面仕様であること。
1-1-24	モニターカートとCアーム本体はケーブルレスの無線接続であること。
1-1-25	USBポートを有し、USB媒体にDICOMフォーマットで記入できること。
1-1-26	Cアーム本体の重量は260kg以下であること。
2. 障害支援体制	
	故障時において復旧の為現場で迅速な対応が可能であること。
	設置から1年間は、無償にて点検・調整等を随時行なうこと。
	県内にサービス拠点があり、迅速な対応ができること。
3. 設置条件	
	搬入・据付・調整等を行なうこと。
4. その他	
	日本語操作マニュアルを備えること。
	設置、稼動にあたり教育訓練を行なうこと。
	移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置は既設のPACSと接続すること。 移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置とPACSとの接続方法は有線が可能であること。